

- 自ら考え、表現できる人（創造）
- 仲間とともに高め合える人（共生）
- 心身ともにたくましい人（健康）

## 学習成果の追究、生徒活動の充実、適応指導の徹底と重点に

1学期末の生徒・教職員による自己評価の結果をもとに、2学期の重点実践事項を次の4点に絞り込んで、成果を追究してまいります。

### 1 一人一人の生徒にとって「わかる・できる」授業となるよう、授業の充実に努める。



須賀川市の学力調査の結果では、1年生は全国平均を超える結果でした。2、3年生については、全国平均をやや下回っています。全国学力調査（3年生のみ）も同様の結果です。また、本校独自の意識調査の中で各教科（9教科）について「よくできた、やってよかった」と回答した生徒の割合が6割に満たない教科も少なくありません。2学期は、生徒の思考・判断・表現の場面の充実と家庭学習の仕方の指導の充実に力を入れてまいります。

### 2 目標達成のために部活動で体力・技術の向上に真剣に取り組めるようにする。

意識調査「目標をもって部活動に参加した」の項目の結果は、全学年とも「たいへんよくできた」「よくできた」を合わせて90%を超えました。しかし、「たいへんよくできました」だけを見ると、生徒は43～64%なのに対して、教師はその半分程度と大きな差が見られました。目標達成についてのより強い意志をはぐくみ、自ら日々の練習を工夫できる生徒を育成したいと思います。



### 3 文化祭や松明あかしで、集団の一員としての責任を果たす態度を一層高める。

意識調査「学級や委員会で自分の役割を果たした」の結果についても、**2**と同様の傾向でした。文化祭や松明あかしでは、否（いや）が応（おう）にも集団の一体感が高まります。どの生徒もリーダーとなれる人的環境の中で責任を遂行（すいこう）しようとする態度を育てます。

### 4 保護者とともに、生活習慣の指導と学校生活への適応指導の徹底を図る。

1学期の出席率は、1、2年生が95%、3年生が92%でした。しかし、90%を切っているクラスもあります。生活習慣が崩れてきてはいないか、勉強や部活動、友達関係などが良好でなくなりつつあるのではないか、そのような変化の兆（きざし）しを敏感に察知（さつち）し、速やかに対応したいと思います。それが結果として、新たな不登校を出さないことや、不登校の傾向にある生徒を復帰させることにつながってくるものと考えています。このことに関しては、保護者の皆様との連絡・連携についてご理解とご協力をお願いします。



## 秋の全国交通安全運動 9月21日（水）から9月30日（金）

上記のとおり、間もなく秋の全国交通安全運動期間となります。また、9月30日（金）は、「交通事故死ゼロを目指す日」になっています。本校でも、8月29日（月）に交通安全教室を実施し、自転車の安全点検とDVDを使って交通事故防止の指導を行いました。自転車の不備が指摘された自転車の修理は完了したでしょうか？ また、下記の観点から家庭で話し合いをすることが、家族一人一人の危機意識を高めるうえで、たいへん有意義だと考えます。

- ① 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車使用中の交通事故防止
- ② 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトの正しい着用
- ③ 飲酒運転の根絶

運動の基本  
「子供と高齢者の交通事故防止」

## 英語弁論大会



### 成長の証(あかし)、今年度は第2位

8月31日(水)に開催された岩瀬地区英語弁論大会に、本校から暗唱の部に柏倉嘉乃(かしくら・よしの)さん(1年)、鈴木彰馬(しょうま)くん(2年)、創作の部に吉田真大(まひろ)くん(3年)の3名が出場しました。この大会は、台風10号の影響により予定を1日延(の)ばして、さらに会場を仁井田中学校体育館に変更して行われました。

スピーチは、マイクを使わず肉声で行われるため、体育館という広い会場では声量の点で厳しかったようです。そんな中でも、吉田真大くんが、今年の4位から今年度は2位と順位を上げ、確実な成長を証明しました。おそらく1位から3位くらいまでは僅差(きんさ)の勝負だったと思われます。

残念ながら、柏倉さん、鈴木くんは賞に入ることはできませんでしたが、それぞれの人柄(ひとがら)を感じさせる口調での、堂々たるスピーチでした。二人が、この経験から得たものをクラスメイトに広め、より多くの参加希望者の中から選ばれる形で、次年度の同大会に出場するようだと言っています。

## 「壁にぶつかっても前に進みます」 吹奏楽部、さらにはばたく

「私たちは顧問の先生も代わり……。これからどんなに大きな壁にぶつかろうとも、必ず前に進みます。」

8月28日(日)、喜多方プラザで行われたTBC子ども音楽コンクールで、演奏前に司会の女性アナウンサーが部員の声を紹介しました。結果は、第4位相当の優良奨励賞で惜しくも東北大会出場は逃してしまいましたが、7月上旬に出場した県南支部吹奏楽コンクールの時に比べると、格段に豊かな演奏になってきています。顧問の鈴木教諭も結果に期待がふくらんでいた分、落胆(らくたん)は隠せませんでした。しかし、すぐに気を取り直して今後の課題を3点あげ、3つ目は「私自身の力量の向上」と表情を引き締めました。

コンクール前に、私は「新しい指導者、新しい仲間と、新しい楽曲を携(たずさ)えて吹奏楽部は飛び立ったばかりです。可能性が大きくなるのはこれからです。しっかり羽ばたいて翼を太らせてください。」と伝えました。指導者も生徒も期待に違(たが)わぬ活動ぶりです。

## 各種表彰の記録

第13回秦俊輔杯(兼第32回支部中学校)

バレーボール大会 第2位

全日本卓球選手権大会(兼福島県卓球選手権大会)

カデットの部 男子ダブルス

第3位 関根遼翔(はると)②・仲野陽翔(はると)②

県南1,2年生ソフトテニス研修大会 男子の部

第5位 須藤雄哉②・大平 陸(りく)①

岩瀬地区音楽祭(第1部合唱)

銀賞 特設合唱部

第34回小倉百人一首競技かるた小山大会

E組 第3位 後藤 唯花(ゆいか)②

第3位 後藤 七海(ななみ)①

本年度の第1回漢字検定合格者

準2級 佐久間亜美③

3級 成田 岬③ 五十嵐海空(のあ)③

石川幹太③ 小林いぶ稀(いぶき)③

武田 匠③ 高橋愛奈②

西牧紗来(さら)② 倉持奈央②

4級 後藤唯花② 吉田寧々(ねね)②

※漢字検定の5級~10級合格者は次号で紹介します。

(注)○に数字は学年です。

この他、本誌第10号で紹介した「ひがし公民館応援隊」の11名が、夏休みに東公民館で開催された夏休み子ども交通安全教室や、8月27日(土)に牡丹園で開催された「ららたいむ」にボランティアで協力しました。表彰はありませんが、このような活動も本校生の立派な活動として紹介させていただきます。

